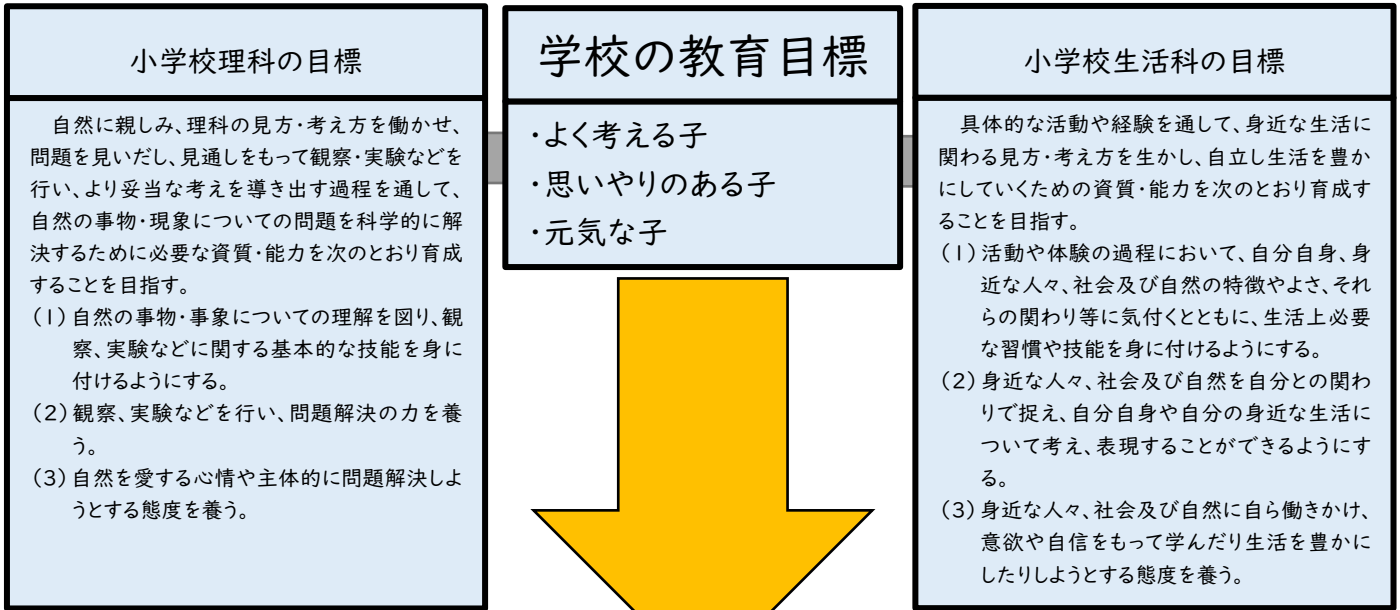


令和4年度大田区立池上第二小学校研究構想図



研究主題 根拠をもとに考える力を育む指導の工夫

～理科・生活科等を通して～

研究仮説 ・試行錯誤して取り組む経験を積むことで、考えて解決したいと思う児童が増えるであろう。

・問題作りや伝え合う活動を工夫することで、児童は根拠をもって予想したり、話し合ったりすることができるであろう。

研究に迫るための手だて

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自分の考えを書いたり説明したりする活動の充実 | <input type="checkbox"/> 伝え合う活動の充実 |
| <input type="checkbox"/> 児童の実態把握 | <input type="checkbox"/> 問題づくりの工夫(理科) |
| <input type="checkbox"/> ICT 機器の活用 | <input type="checkbox"/> 体験活動の工夫(生活科) |
| <input type="checkbox"/> 問題解決の基本プロセスの共有 | <input type="checkbox"/> 学習環境の整備 |

目指す児童像

見通しをもって、観察・実験・活動を行い、問題を解決しようとする児童

低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会
<p>試行錯誤しながら、粘り強く工夫する児童</p> <p>自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりできる児童</p>	<p>生活経験などを基に問題作りをしたり、予想や仮説を立てたりする児童</p> <p>観察・実験の結果を整理し、分かったことを自分の言葉でまとめようとする児童</p>	<p>学習経験や生活経験を基に予想や仮説を立てたり、実験方法を考えたりしようとする児童</p> <p>観察・実験の結果を整理し、分かったことを自分の言葉でまとめることができる児童</p>